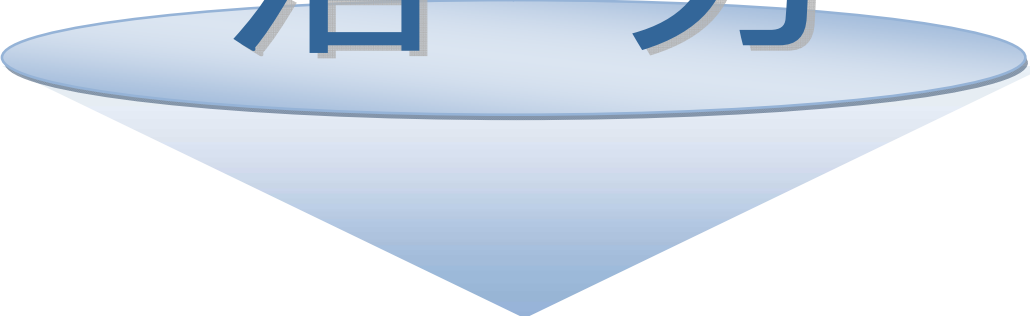


活 力



「活力」によりめざす将来のまちの姿

農林業、商業、工業と多彩な産業が盛んで、女性や若者など様々な人たちが希望をもって働いています。また、多くの人でまちが賑わい、様々な交流がひろがり、地域の特性を生かした持続的に発展する都市となっています。

活 力 の施策体系

【まちづくり目標（基本構想）】

3 個性豊かで活力あるまち

【基本政策（基本構想）】

3-6 産業の活力があふれる元気なまちづくり

【施策展開の方向（基本構想）】

3-6-1 地域の産業が盛んなまちをつくる

【施策（後期基本計画）】

- 21◇地域を支える商業・工業の振興 103 ページ
- 22◇誰もが働きやすい環境の整備 106 ページ
- 23◇地域とつながる都市農業・森林づくりの推進 108 ページ

【施策展開の方向（基本構想）】

3-6-2 多くの人が訪れる賑わいのあるまちをつくる

【施策（後期基本計画）】

- 24◇魅力ある観光の振興 112 ページ
- 25◇シティプロモーションの推進 115 ページ

【基本政策（基本構想）】

3-7 都市の活力を生み出す魅力あるまちづくり

【施策展開の方向（基本構想）】

3-7-1 都市の骨格を支えるまちをつくる

【施策（後期基本計画）】

- 26◇地域特性を生かした新たな産業基盤の創出 117 ページ
- 27◇交流がひろがる拠点の形成 119 ページ

3-6-1

施策 21 地域を支える商業・工業の振興

地域経済を支える工業やまちに賑わいを生む商業の振興により、地域経済の活性化を図ります。

施策の方針

- ◆戦略的な企業誘致や既存企業の設備投資支援を推進するとともに、産学官の連携を強化し、成長が期待されるロボット関連産業への企業参入等を促進するなど、地域の経済活動の活性化に取り組みます。
- ◆既存商店の魅力向上や新たな商店の出店支援、関係機関との連携による本市独自の特産品の開発など、商店の魅力向上に向けた取組や意欲的に活動している商業団体等を支援するとともに、商店街における賑わいの創出に向けた環境整備等を支援します。

主な事業

事業No.	事業名	担当部	担当課	リーディングプロジェクト
21-101	企業立地促進事業	経済環境部	商工観光課	③
21-102	ロボット産業促進事業	経済環境部	商工観光課	②③
21-103	商店街活性化支援事業	経済環境部	商工観光課	②

個別事業計画表

事業番号 21-101 企業立地促進事業 (経済環境部 商工観光課)				
事業内容	- 北インター周辺の産業基盤整備の進捗状況を見据え、企業立地促進条例の優遇措置等の見直しを図るとともに、都市部や関係機関等と連携した企業誘致活動に取り組みます。 - 中小企業の経営力強化等を図るため、生産性の向上に向けた産業用ロボットの導入やIoT化等に取り組む事業者を支援します。 - 見本市等の出展による販路拡大や情報発信等の取組を支援します。			
事業行程	項目	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	企業誘致活動	企業訪問	企業訪問	企業訪問
	情報交換・情報発信	関係機関等との 情報交換、情報発信	関係機関等との 情報交換、情報発信	関係機関等との 情報交換、情報発信
	新制度検討	優遇制度等の検討	優遇制度等の検討	優遇制度等の検討
目 標	指標名	指標の定義		
	企業立地促進条例適用件数	企業立地促進条例の新規適用を受けた単年度事業所数		
	現状値(平成29年度)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	—	2件	8件	8件
事業費総額(3年間の事業費見込み)		3,207千円		
財源内訳		(一般財源)	3,207千円	
		(国県補助等)	0千円	
		(起債)	0千円	
		(その他)	0千円	

事業番号 21-102 ロボット産業促進事業 (経済環境部 商工観光課)				
事業内容	- 地域特性である観光資源を生かしたロボット活用の新たな可能性を探り、ロボット関連事業者との産学官連携等による継続的な実証実験等の実施や企業参入に向けた交流事業を推進します。 - 防災・消防等の関係所管課と連携し、ドローンや市内企業が開発した災害対策ロボット等の活用など、本市ならではのロボット活用を発信します。 - 県や関係機関等と連携し、生活支援ロボット関連の普及啓発事業を推進します。			
事業行程	項目	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	ロボット実証実験等事業	実証実験等事業実施	実証実験等事業実施	実証実験等事業実施
	企業参入促進	交流事業等実施	交流事業等実施	交流事業等実施
	生活支援ロボット普及啓発事業	普及啓発事業実施	普及啓発事業実施	普及啓発事業実施
目 標	指標名	指標の定義		
	ロボット関連事業の実施件数	ロボット関連の普及啓発や実証実験等の単年度実施件数		
	現状値(平成29年度)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	—	2件	2件	3件
事業費総額(3年間の事業費見込み)		2,442千円		
財源内訳		(一般財源)	2,442千円	
		(国県補助等)	0千円	
		(起債)	0千円	
		(その他)	0千円	

事業番号
21-103

商店街活性化支援事業

(経済環境部 商工観光課)

- 事業内容
- ・商業振興計画を抜本的に見直し、個店や商店街等の魅力アップを図るなど、実効性の高い事業プランづくり及び着実な遂行を図ります。
 - ・空き店舗等の活用促進や新たな支援策の検討、また意欲的な経営者や活発な活動を行っている樂市樂座実行委員会等を積極的に支援します。
 - ・県道61号電線地中化事業に伴い、街路灯等の設置を支援します。

事業行程	項目	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	商店街活性化支援	継続的支援 新支援制度検討	継続的支援 新支援制度検討	継続的支援 新支援制度推進
	新商業振興事業プラン策定	事業プラン策定	事業プラン実行	事業プラン実行
	県道61号電線地中化整備に伴う商店街支援	継続的支援	継続的支援	継続的支援
目 標	指標名	指標の定義		
	商店街団体等による活性化イベントの開催件数	市内の商店街団体等が主体的に実施する趣向を凝らした活性化イベント等の単年度開催件数		
	現状値(平成28年度)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	15回	16回	16回	17回
事業費総額(3年間の事業費見込み)		21,124千円		
財源内訳		(一般財源)	21,124千円	
		(国県補助等)	0千円	
		(起債)	0千円	
		(その他)	0千円	

3-6-1

施策 22 誰もが働きやすい環境の整備

女性や高齢者等、様々な人々が市内で自分の希望に沿って働くことのできる環境を整えます。

施策の方針

- ◆地域経済活動の担い手を確保するため、市民や企業に対し働きやすい環境づくりに向け
た普及啓発を図るとともに、女性や高齢者など、様々な人を対象とした就労や創業に対
する支援などにより、働く意欲のあるすべての人が生き生きと働くことのできる環境を
整えます。

主な事業

事業No.	事業名	担当部	担当課	リーディング プロジェクト
22-101	地域雇用・創業・就労支援事業	経済環境部	商工観光課	③④
22-102	ワーク・ライフ・バランス普及促進事業	市民生活部	人権・広聴相 談課	④

個別事業計画表

事業番号
22-101

地域雇用・創業・就労支援事業

(経済環境部 商工観光課)

事業内容	- 創業支援事業計画に基づき、いせはら創業応援ネットワークによるステージに応じた組織的な創業支援を進めます。また、創業しやすい環境づくりとして、空き店舗等情報提供サービス等の検討を進めます。 - 少子高齢化等に伴う将来的な生産年齢人口の減少に向けて、ふるさとハローワークの移転拡充を視野に、求人・求職紹介、労働相談等の多様な就労ニーズに応じた就労支援を一体的に進めます。			
事業行程	項目	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	いせはら創業応援ネットワークの推進	創業支援	創業支援	創業支援
	就労支援の推進	セミナー等実施	セミナー等実施	セミナー等実施
	雇用促進協議会支援	事業支援	事業支援	事業支援
	ふるさとハローワークの運営	運営	運営	運営
目 標	指標名	指標の定義		
	雇用関連事業件数	就労・創業等に関連する単年度事業件数		
	現状値(平成28年度)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	5件	5件	6件	6件
事業費総額(3年間の事業費見込み)				5,580千円
財源内訳				(一般財源) 5,580千円
				(国県補助等) 0千円
				(起債) 0千円
				(その他) 0千円

事業番号
22-102

ワーク・ライフ・バランス 普及促進事業

(市民生活部 人権・広聴相談課)

事業内容	- 働く男女を対象として、啓発誌やホームページ等を活用し、ワーク・ライフ・バランスの考え方、促進する制度や成功事例等を紹介し、理解と普及に努めます。 - 市民や事業者を対象にワーク・ライフ・バランスの普及と実践に向けて講座を開催し、成功事例の学習等により、具体的な取組を促進します。			
事業行程	項目	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	ワーク・ライフ・バランスに関するホームページの情報提供	開設	充実	充実
	ワーク・ライフ・バランスに関する講座の開催	開催(年1回)	開催(年1回)	開催(年1回)
目 標	指標名	指標の定義		
	ワーク・ライフ・バランスに関するホームページの情報提供数	神奈川県や他市町村主催の講座等、ワーク・ライフ・バランスに関するホームページに掲載する情報の掲載数		
	現状値(平成29年度)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	0件	3件	4件	5件
事業費総額(3年間の事業費見込み)				0千円
財源内訳				(一般財源) 0千円
				(国県補助等) 0千円
				(起債) 0千円
				(その他) 0千円

3-6-1

施策 23

地域とつながる都市農業・森林づくりの推進

農業経営の安定化と農畜産物の付加価値向上により、持続的に農業が営まれる環境づくりを推進します。
また、市の貴重な財産である森林資源が、次代に確実に引き継がれる環境を整えます。

施策の方針

- ◆農業基盤の整備や農地の集積・集約化、新たな担い手の育成・確保等により、農業経営の安定化を図るとともに、有害鳥獣による被害防除対策など、農業経営を継続できる環境づくりに取り組みます。
- ◆農畜産物の付加価値向上による農業所得の向上を図るため、ブランド化や農商工の連携、6次産業化等の戦略的な農業を進めます。
- ◆森林の持つ公益的機能の保全等を図るため、林業基盤の計画的な整備を推進するとともに、森林の適切な管理に取り組みます。

主な事業

事業No.	事業名	担当部	担当課	リーディングプロジェクト
23-101	農業基盤整備事業	経済環境部	農業振興課 農林整備担当	—
23-102	農業経営基盤強化対策事業	経済環境部	農業振興課	—
23-103	有害鳥獣対策事業	経済環境部	農業振興課	—
23-104	農畜産物ブランド化推進事業	経済環境部	農業振興課	①②
23-105	森林管理促進事業	経済環境部	農業振興課 農林整備担当	—

個別事業計画表

事業番号
23-101

農業基盤整備事業

(経済環境部 農業振興課
農林整備担当)

事業内容	- 下小稲葉地区の全体計画 28ha の内、7ha の農道・水路整備等を実施します。 - 基盤整備が必要な地区の農道、水路、取水堰等の整備を実施します。			
事業行程	項目	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	農道の整備	用地、補償	工事	測量、設計、用地買収
	水路の整備	工事	工事	測量、設計
目 標	指標名	指標の定義		
	農道の整備延長	農業基盤施設の農道整備延長		
	現状値(平成29年度)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	—	—	L=666.7m	—
事業費総額(3年間の事業費見込み)		156,264 千円		
財源内訳		(一般財源)	5,607 千円	
		(国県補助等)	108,857 千円	
		(起債)	41,800 千円	
		(その他)	0 千円	

事業番号
23-102

農業経営基盤強化対策事業

(経済環境部 農業振興課)

事業内容	- 農地中間管理事業を活用し、担い手等への農地の集積・集約化を図ります。 - 国の補助事業を活用し、就農初期(5年以内)の青年等就農者が経営安定するまで支援します。 - 県の補助事業を活用して荒廃した農地の解消に努めます。 - 援農制度や農業を目指す農業大学・高校生(特に非農家の学生)などのニーズを把握し農業者として本市で就農できる支援等を行います。			
事業行程	項目	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	荒廃農地整備	0.5ha 整備	0.5ha 整備	0.5ha 整備
	新規就農認定	実施	実施	実施
	利用集積	5ha 集積	5ha 集積	5ha 集積
	援農支援	ニーズ把握・調査	制度検討	制度制定
目 標	指標名	指標の定義		
	荒廃農地面積	荒廃している農地面積		
	現状値(平成29年度)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	4.9ha	4.4ha	3.9ha	3.4ha
事業費総額(3年間の事業費見込み)		11,874 千円		
財源内訳		(一般財源)	1,183 千円	
		(国県補助等)	10,691 千円	
		(起債)	0 千円	
		(その他)	0 千円	

事業番号 23-103		有害鳥獣対策事業			(経済環境部 農業振興課)
事業内容		・鳥獣被害対策実施隊による、効果的な有害鳥獣の捕獲や防除対策を実施します。 ・サルによる農作物被害の軽減のため各地区内の自衛組織によるサルの追い払い活動の強化とイノシシ被害が多く発生していることから、わなによる捕獲活動を強化します。 ・ヤマビル対策は、大山地区を重点地域とし、自治会等地域の団体と連携した防除対策を実施します。 高部屋・比々多地区は地域の活動を支援します。			
事業行程	項目	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	鳥獣被害防止計画策定	第3次計画	第3次計画 第4次計画策定	第4次計画	
	鳥獣被害対策実施隊	対策活動	対策活動	対策活動	
	サル追い払い・捕獲檻等管理事業	実施	実施	実施	
	有害鳥獣・ヤマビル対策支援事業	補助・支援	補助・支援	補助・支援	
目 標	指標名	指標の定義			
	野生動物による農作物等の被害額	農業者からの被害調査で把握した野生動物による農作物等の被害額			
	現状値(平成28年度)	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	24,878千円	22,390千円	20,151千円	18,136千円	
事業費総額(3年間の事業費見込み)		35,928千円			
財源内訳		(一般財源)	25,797千円		
		(国県補助等)	10,131千円		
		(起債)	0千円		
		(その他)	0千円		

事業番号 23-104		農畜産物ブランド化推進事業			(経済環境部 農業振興課)
事業内容		・農畜産物等の食品に関し伊勢原のブランド品として選定するとともに、さらに高付加価値を付けた農畜産物を調査研究していきます。 ・農畜産物を販売・情報発信できる環境を整備し、ブランド品など農畜産物の販売を強化し、農業所得の向上につながる支援を図ります。			
事業行程	項目	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	新たな商品選定制度	選定審査 (制度運用)	選定審査 (制度運用)	選定審査 (制度運用)	
	販路拡大等の調査・支援	イベント出店	イベント出店 ECサイト作成	支援策 ブラッシュアップ	
	(仮称)プレミアムブランド品の選定	調査・研究	調査・研究	認定制度確立	
	6次産業化等の調査・研究	調査・研究	調査・研究	新商品開発	
目 標	指標名	指標の定義			
	いせはらブランド選定数	いせはらブランドに選定された商品数			
	現状値(平成29年度)	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	35品目	35品目	38品目	40品目	
事業費総額（3年間の事業費見込み）				8,980 千円	
財源内訳		(一般財源)		3,490 千円	
		(国県補助等)		3,490 千円	
		(起債)		0 千円	
		(その他)		2,000 千円	

事業番号
23-105

森林管理促進事業

(経済環境部 農業振興課
農林整備担当)

事業内容	- 作業路（枝打、間伐、木材搬出用道路 幅員 W=2.5m）網の整備を行います。 - 協約締結地において、間伐、枝打等の森林整備を行います。 - 集落周辺（大山地区、高部屋地区及び比々多地区等）において、間伐、枝打、除伐及び地拵え等の森林整備を行います。			
事業行程	項目	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	作業路の整備	工事	工事	工事
	協約締結地の森林整備	間伐・枝打	間伐・枝打	間伐・枝打
	集落周辺の森林整備	間伐・枝打・除伐・ つる切り・地拵え	間伐・枝打・除伐・ つる切り・地拵え	間伐・枝打・除伐・ つる切り・地拵え
目 標	指標名	指標の定義		
	作業路の整備延長	森林を適正に管理するための水源林管理道（作業路）の整備延長		
	現状値(平成29年度)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	L=692m	L=650m	L=650m	L=700m
事業費総額（3年間の事業費見込み）		76,594 千円		
財源内訳		（一般財源）	13,466 千円	
		（国県補助等）	63,128 千円	
		（起債）	0 千円	
		（その他）	0 千円	

その他の関連の事業

事業名	事業内容	担当部	担当課
農とみどりの整備事業	農業の基本施設である用排水路、農道を整備し、農業生産性の安定、農村環境の向上を図ります。	経済環境部	農業振興課 及び 農業振興課 農林整備担当
農山漁村地域整備交付金集落基盤整備事業（高部屋地区）	地域農業の健全な発展と総合的な振興を図るため、地域の特性に応じた生産基盤の整備、生活環境の向上を総合的に推進するための基盤整備を行います。	経済環境部	農業振興課 農林整備担当
農業地域環境整備事業	農道や用排水路などの農業用施設の適正な維持管理と景観植物の植栽など農地の持つ多面的な機能を発揮する活動に対して支援していきます。	経済環境部	農業振興課
農業振興地域整備計画管理事業	社会的状況変化に対応するため、概ね5年毎に農業振興地域整備計画の見直しを行い、整備計画の適正な管理を行っていきます。	経済環境部	農業振興課
農業後継者育成対策事業	農業経営基盤強化対策事業に関連し、農業経営士等との連携により、担い手・後継者の育成と確保に対する活動を支援し、後継者等育成組織の充実を図ります。	経済環境部	農業振興課

3-6-2

施策 24 魅力ある観光の振興

地域資源等を活用した交流の活性化により、1年を通じて国内外から多くの観光客で賑わうまちづくりを推進します。

施策の方針

- ◆様々な地域資源を有効に活用するとともに、市内における観光エリアの回遊性の向上や他都市との連携による広域観光の推進により、国内外から多くの人を引きつける魅力ある観光地づくりに取り組みます。さらには、多様な主体との連携を強化し、観光客の受入環境を整えます。

主な事業

事業No.	事業名	担当部	担当課	リーディングプロジェクト
24-101	大山誘客受入強化事業	経済環境部	商工観光課	①②
24-102	日向魅力アップ事業	経済環境部	商工観光課	②
24-103	比々多魅力再発見事業	経済環境部	商工観光課	②

個別事業計画表

事業番号
24-101

大山誘客受入強化事業

(経済環境部 商工観光課)

事業内容	・「平成大山講プロジェクト」を推進し、フリーWi-Fiと観光アプリによる回遊促進、行楽シーズンの慢性的な交通渋滞解消に向けた警備業務の強化と駐車場情報の適切な提供、手書き地図の作製による地域資源の再発見・再評価及び「よりみち」の促進、レインツーリズムによる誘客促進・滞在時間の延長、観光行事やイベントの充実・強化（四季を通じた誘客促進）、外国人観光客の受入体制の整備に取り組めます。			
事業行程	項目	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	観光行事・イベント	20 イベント実施	20 イベント実施	20 イベント実施
	外国人受入体制の充実	多言語観光パンフ作成 外国語案内業務実施	多言語観光パンフ作成 外国語案内業務実施	多言語観光パンフ作成 外国語案内業務実施
	駐車場・渋滞対策	満空表示の設置 行楽シーズンに 臨時駐車場を設置 シャトルバス運行	行楽シーズンに 臨時駐車場を設置 シャトルバス運行	行楽シーズンに 臨時駐車場を設置 シャトルバス運行 高速道路高架下 駐車場設計
目 標	指標名	指標の定義		
	大山・日向地区の入込観光客数	大山・日向地区の観光に訪れた人の数（推計値）		
	現状値(平成28年度)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	111万人	115万人	117万人	119万人
事業費総額（3年間の事業費見込み）		55,467 千円		
財源内訳		(一般財源)	35,561 千円	
		(国県補助等)	19,906 千円	
		(起債)	0 千円	
		(その他)	0 千円	

事業番号
24-102

日向魅力アップ事業

(経済環境部 商工観光課)

事業内容	・地元との連携による日向地区の観光資源を生かした企画イベントの開催、手書き地図の作製による地域資源の再発見・再評価及び「よりみち」の促進、案内標識等の観光インフラの整備に取り組むとともに、観光基礎調査結果に基づいた日向地区の観光まちづくりを進めます。			
事業行程	項目	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	日向地区で実施する企画イベント数	5 イベント実施	5 イベント実施	6 イベント実施
	地元との観光振興に係る協議	事業を通じた協議	協議内容に基づく観光振興策の実施	協議内容に基づく観光振興策の実施
	観光インフラ整備（案内標識の設置、ハイキングコースの整備等）	案内標識等の設置・修繕 ハイキングコースの整備	案内標識等の設置・修繕 ハイキングコースの整備	案内標識等の設置・修繕 ハイキングコースの整備
目 標	指標名	指標の定義		
	日向地区での企画イベントの実施による賑わいの創出	日向地区で実施する企画イベント数		
	現状値(平成28年度)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	5回/年	5回/年	5回/年	6回/年
事業費総額（3年間の事業費見込み）		4,207 千円		
財源内訳		(一般財源)	2,738 千円	
		(国県補助等)	1,469 千円	
		(起債)	0 千円	
		(その他)	0 千円	

事業番号
24-103

比々多魅力再発見事業

(経済環境部 商工観光課)

事業内容	- 手書き地図の作製を通じた地域資源の再発見・再評価を実施するとともに、地元との連携による比々多地区の観光資源を生かした企画イベントの開催、案内標識等の観光インフラの整備を行います。 - 大山地区や日向地区、秦野市の鶴巻温泉地区との回遊促進にむけた交通手段やルートの検討を行います。			
事業行程	項目	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	比々多地区で実施する企画イベント数	1イベント実施	1イベント実施	2イベント実施
	観光インフラ整備(案内標識の設置、ハイキングコースの整備等)	案内標識等の設置 ハイキングコース の整備	案内標識等の設置 ハイキングコース の整備	案内標識等の設置 ハイキングコース の整備
	地元との観光振興に係る協議	事業を通じた協議	協議内容に基づく 観光振興策の実施	協議内容に基づく 観光振興策の実施
目 標	指標名	指標の定義		
	比々多地区での企画イベントの実施による賑わいの創出	比々多地区で実施する企画イベント数		
	現状値(平成28年度)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	0回/年	1回/年	1回/年	2回/年
事業費総額(3年間の事業費見込み)		2,225千円		
財源内訳		(一般財源)		725千円
		(国県補助等)		1,500千円
		(起債)		0千円
		(その他)		0千円

その他の関連の事業

事業名	事業内容	担当部	担当課
県道611号(大山板戸)大山バイパス整備促進事業	大山地域への観光客のアクセス性の向上や地域の交通安全、生活環境の向上を図るため、関係機関と連携し整備を促進します。	都市部	国県事業対策課

3-6-2

施策 25 シティプロモーションの推進

積極的な情報発信により市内外に伊勢原の魅力をわかりやすく伝え、認知度や都市イメージの向上、愛郷心の醸成を図ります。

施策の方針

- ◆市民や企業、団体等と連携し、国内外に向けて充実した情報発信を行うとともに、パブリシティ活動や市公式イメージキャラクタークルリンを活用し、市の認知度の向上と様々な交流の拡大を促します。
- ◆多くの市民が市への愛着を高め、将来的な定住につなげるため、市民、特に若い世代などの視点や発信力を活用したシティプロモーション活動に取り組みます。

主な事業

事業No.	事業名	担当部	担当課	リーディングプロジェクト
25-101	地域の魅力発信事業	企画部	広報戦略課	②
25-102	地域人材による魅力創造事業	企画部	広報戦略課	②

個別事業計画表

事業番号 25-101		地域の魅力発信事業		(企画部 広報戦略課)	
事業内容		・公式イメージキャラクター等の活用を図るとともに、パブリシティ活動や SNS の活用により、伊勢原ならではの地域の魅力を発信します。 ・都市基盤整備等の環境変化にあわせて、新たなシティプロモーションブックを作成します。			
事業行程	項目	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	マスメディアへの積極的なPR	定例会見 パブリシティ	定例会見 パブリシティ	定例会見 パブリシティ	
	イメージキャラクターの出演	市内外のイベント参加	市内外のイベント参加	市内外のイベント参加	
	シティプロモーションブックの発行	検討	作成	配付	
	計画の進行管理	内部評価・公表	計画改定準備	計画改定	
目 標	指標名	指標の定義			
	マスコミへの情報提供数	マスコミへの情報提供の年度別件数			
	現状値(平成28年度)	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	515件	520件	525件	530件	
事業費総額（3年間の事業費見込み）				5,080千円	
財源内訳		(一般財源)		5,080千円	
		(国県補助等)		0千円	
		(起債)		0千円	
		(その他)		0千円	

事業番号
25-102

地域人材による魅力創造事業

(企画部 広報戦略課)

事業内容

- 教育機関との連携により、若い世代のアイデア等を活用し、地域の魅力の掘り起こしや創造に繋がるシティプロモーション活動を展開するとともに、伊勢原をより深く知るための自主的なプロモーション活動を支援します。

事業行程

項目	平成30年度	平成31年度	平成32年度
大学等との連携	動画作成	動画配信	動画配信
市民・団体等との連携	SNS配信等	SNS配信等	SNS配信等
職員グループへの活動支援	イベント協力	イベント協力	イベント協力

目 標

指標名	指標の定義			
プロモーション 公認サポーター数	シティプロモーション公認サポーターの累計団体（人）数			
現状値(平成28年度)	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
25団体（個人）	40団体（個人）	42団体（個人）	44団体（個人）	

事業費総額（3年間の事業費見込み）

144 千円

財源内訳

（一般財源）	144 千円
（国県補助等）	0 千円
（起債）	0 千円
（その他）	0 千円

3-7-1

施策 26 地域特性を生かした新たな産業基盤の創出

新たな産業系市街地の整備によって、企業を集積し雇用機会を拡充することで、地域経済の活性化を図ります。

施策の方針

- ◆新たな企業集積による地域経済の活性化を促すため、新東名高速道路等の広域幹線道路の整備効果を生かした産業用地の創出を推進するとともに、創出された産業用地への優良企業の誘致による雇用機会の拡充に取り組みます。

主な事業

事業No.	事業名	担当部	担当課	リーディングプロジェクト
26-101	北インター周辺地区まちづくり推進事業	都市部	新産業拠点整備課	③
26-102	東部第二土地区画整理推進事業	都市部	新産業拠点整備課	③

個別事業計画表

事業番号 26-101 北インター周辺地区 まちづくり推進事業 (都市部 新産業拠点整備課)				
事業内容	- 地元組織（組合設立準備委員会）が作成する土地区画整理事業の事業計画案をもとに、国や県との都市計画等の協議及び法手続きを進め、市街化区域編入及び組合設立認可を取得して事業化を図ります。 - 事業主体（組合設立準備委員会または組合）の支援と事業区域内外の関連公共施設整備の計画調整を行い、事業の円滑な推進を図ります。			
事業行程	項目	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	土地区画整理事業手続き	組合設立認可申請	組合設立	組合運営、仮換地指定
	基盤整備工事	—	文化財調査、造成工事	文化財調査、補償移転、造成工事
	関連公共施設整備	対応方針検討	調査設計	公共施設整備工事
	企業誘致	企業情報収集	企業情報収集	企業情報収集
目 標	指標名	指標の定義		
	土地区画整理事業の推進	産業系市街地整備に向けた土地区画整理事業の段階的な取組		
	現状値(平成28年度)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	事業化検討	事業化準備	事業着手	事業継続
事業費総額（3年間の事業費見込み）		397,743 千円		
財源内訳		（一般財源）	159,843 千円	
		（国県補助等）	122,900 千円	
		（起債）	115,000 千円	
		（その他）	0 千円	

事業番号 26-102 東部第二土地区画整理推進事業 (都市部 新産業拠点整備課)				
事業内容	- 伊勢原市東部第二土地区画整理組合に対し、技術的援助を行うとともに土地区画整理事業補助金を交付して、組合事業の円滑な推進を図ります。 - 土地区画整理事業に関連する公共施設（道路、公園、下水道等）の整備や管理方法の調整を行い、円滑に施設の管理引継を行います。			
事業行程	項目	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	基盤整備工事	造成工事	造成工事完了	—
	関連公共施設整備	公共施設整備工事	公共施設整備工事完了	管理引継
	区域内の建築行為等の許可及びまちづくり協定の管理	建築行為等の許可 協定管理組織立上げ	建築行為等の許可 協定管理	建築行為等の許可 協定管理
目 標	指標名	指標の定義		
	基盤整備工事の進捗率	組合施行による基盤整備工事の進捗率		
	現状値(平成28年度)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	42%	90%	100%	100%
事業費総額（3年間の事業費見込み）		114515 千円		
財源内訳		（一般財源）	57,505 千円	
		（国県補助等）	0 千円	
		（起債）	0 千円	
		（その他）	57,010 千円	

3-7-1

施策 27 交流がひろがる拠点の形成

伊勢原駅周辺の市街地整備が進み、多くの人が行き交う賑わいのあるまちづくりを推進します。

施策の方針

- ◆伊勢原駅北口周辺において交通環境の改善を図るとともに、地元との協働や民間活力の導入等による、商業・業務機能の集積など、中心市街地としてふさわしい秩序ある土地利用に向けた取組を進めます。

主な事業

事業No.	事業名	担当部	担当課	リーディングプロジェクト
27-101	伊勢原駅北口周辺地区整備事業	都市部	まちづくり推進課	③

個別事業計画表

事業番号 27-101		伊勢原駅北口周辺地区整備事業		(都市部 まちづくり推進課)	
事業内容		・伊勢原駅北口周辺地区整備事業に関連する都市計画を変更します。 ・街区ごとに事業認可を得て、市街地整備事業を実施します。 ・都市計画道路伊勢原駅前線の事業認可を得て、市街地整備に合わせ段階的に整備していきます。			
事業行程	項目	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	都市計画	都市計画変更	—	—	
	基盤整備（都市計画道路伊勢原駅前線・駅前広場）	暫定バス乗降場供用開始	事業認可	用地取得	
	市街地整備	地元調整 関係機関協議	事業認可	整備着手	
目 標	指標名	指標の定義			
	市街地整備の 事業認可箇所数	都市計画道路及び各街区における市街地整備事業を進めるための事業認可箇所数の累計			
	現状値(平成28年度)	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	0箇所	0箇所	2箇所	2箇所	
事業費総額（3年間の事業費見込み）		1,005,889千円			
財源内訳		(一般財源)	123,936千円		
		(国県補助等)	510,453千円		
		(起債)	362,000千円		
		(その他)	9,500千円		